

# 「危機管理模擬訓練（ロールプレイング方式）」を行いました

今後30年間に99%の確率で発生すると言われている「宮城県沖地震」の発生を想定して、多くの公共土木施設に被害が発生したことを想定し、迅速な初動体制の確立・迅速な対応を図ることを目的とした、土木部では、初めての訓練を実施しました。

## 訓練日時・場所

平成20年11月27日(木) 13:00~16:00

## 訓練参加機関・参加人数

本庁各課(土木企画課、道路管理課、河川整備課、砂防課)、相双建設事務所、福島県建設業協会、福島県測量設計業協会  
福島県橋友会、福島県法面保護協会 合計約70名

## 想定地震規模

平成20年11月27日13:00、宮城県沖を震源とする最大震度6強の地震発生  
相馬市などで震度6弱、南相馬市などで震度5強の揺れを観測

## 訓練の効果

災害対応能力(責任者の意思決定能力、職員の情報処理能力)の向上  
関係機関との連絡体制の確認

今後も継続的な取り組みを行い、大規模地震に備えていきたいと考えています。



第一線で情報収集を行う「事務所班」



情報をもとに対応を検討する「本庁班」



次々と被害情報を与える「状況付与班」

「ロールプレイング方式」とは、役割演技法と言われる訓練技法のことを指します。実際に災害が起きた場合と同じような条件(被害の発生状況や関係機関の行動等)を設定し、その中で与えられた情報をもとに職員が自ら状況を判断し、行動することを身につけるための模擬訓練です。